

産業プラン

岡内 光
和田 拡也
上野 凌平
光明 歩勇武

これから産業プランの発表を始めます。
発表者の岡内光です。
以下同文

『和紙の魅力と弱さ』

私達が和紙の魅力と弱さというタイトルにした理由は、和紙には美しく丈夫という魅力がある反面
さまざまな弱さがあります。今回私達は和紙の弱さに焦点を当て、解決策を立ててゆきます。

和紙誕生の経緯

- 1 お坊さんがお経を書くのに紙が沢山使われる
- 2 紙づくりが盛んに行われる
- 3 材質にこだわった紙ができる
- 4 和紙の誕生！！



<http://www.issnp.com/?p=11307>

まず和紙誕生の経緯についてです。和紙のできた由来は昔お坊さんがお経を書いたり、手紙を書くのにたくさんの紙を使っていました。各地で紙づくりがさかんになり材質の良い紙が作られるようになりました。そのようなことから和紙が誕生しました。

• 人間国宝の**浜田幸雄**さん



<https://www.kochinews.co.jp/article/59329/>

浜田さんが
土佐典具帖紙を
作成している

こちらは人間国宝に認定された浜田幸雄(はまださじお)さんです。この方は土佐典具帖紙(とさてんぐちょうし)を作る技術を持っている方です。土佐典具帖紙とはカゲロウの羽といわれるほど薄く、しかし丈夫な紙のことです。今は亡くなってしまいましたが技術はお孫さんが弟とともに次いでいるそうです。

吉井源太氏



吉井源太翁生家



<http://www.tosawashi.or.jp/tosa/genta.html> <http://river.houkou-onchi.com/newpage179.html>

こちらは吉井源太さんです。この方は和紙の製造能率を上げたり和紙の材質を上げる
ことにより一時期いの町に土佐和紙の黄金時代を築き上げた方です。この画像が吉井
源太さんの生家です。
いの町立伊野小学校から1分の位置にあるので機会があればぜひ行ってみてください。
YEAH!!

「土佐和紙の黄金時代」の産物



土佐漆喰
を使用した
建物

<http://tosaha.com/gallery-kk.html>

こちらは先ほどの吉井源太さんが築いた土佐和紙の黄金時代の産物です。
この建物の白い部分に土佐漆喰が使用されていてとても高価な建物です。

和紙の原料

原料はこうぞ・みつまた・がんび



楮 (こうぞ)



三椏 (みつまた)



雁皮 (がんび)

<http://www.kougei-net.jp/report/1/cat8/cat13/>

和紙の原料 はこうぞ、みつまた、
がんびが使用されて
います。これらはいの
町の美しい仁淀川と
自然によって作られて

いました。それによっ
て原料が取りやすく和
紙が作りやすかったの
でいの町が繁栄した
のだと考えられます。

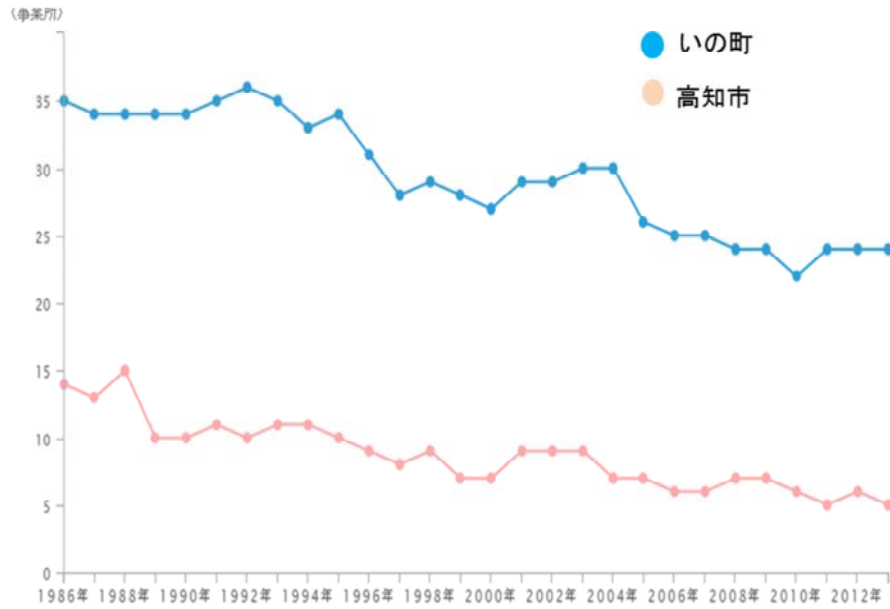
いの町の製造業と就業者数（2010年）



これは2010年のいの町の製造業と就業者数のグラフです。この水色の部分が紙業の就業者数です。見て分かる通り790人と圧倒的に多いです。これを見ても紙業がいのちようを支えているのがわかります。

いの町(パルプ、紙など事業所)

1986年(S61年)～2013年(H25年)



和紙の問題点

- 生産コストが高い
- 後継者問題

今、紙すきの後継者が減少しています。それは和紙という文化性の高い物をつくる、自分の漉いた紙がずっと後世にまで残る、今の世の中で本物の価値観に基づいた自信も誇りも持てる、そんな手漉き和紙なのになぜ後継者が育たないのでしょうか。

和紙産業の減少理由

- 技術を教える機会がない
- 夫婦二人が大半

今こそ後継者育成の
重要性が問われています！！

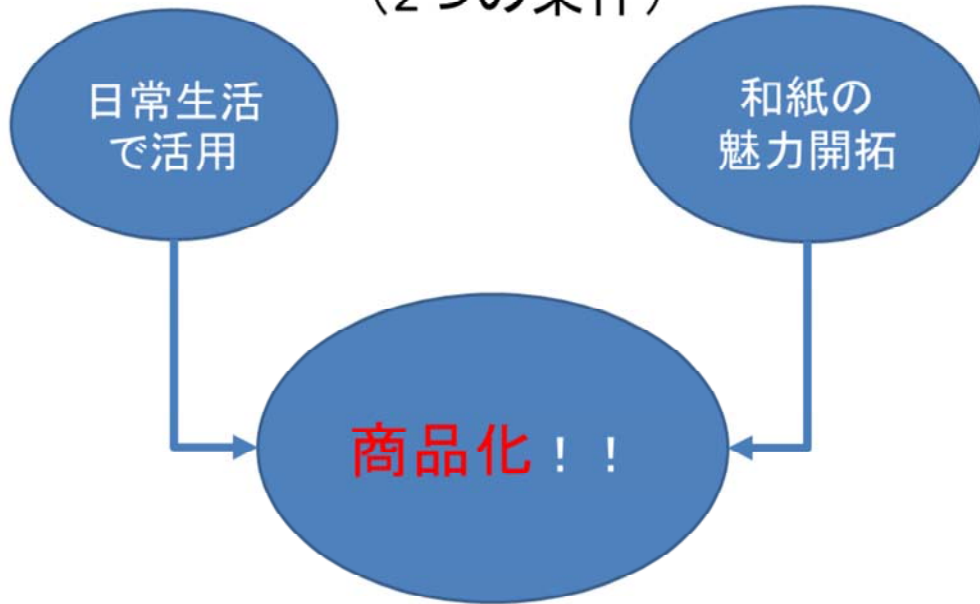
・和紙コンテスト開催

参加方法・・・ネットにサイトを作りそこに応募してもらう

参加年齢・・・中学生～大人の方(年齢は問わない)

参加条件・・・和紙に興味を持っている、または和紙に触れてみたいなど

コンテストで求めるもの
(2つの条件)



和紙コンテストの狙い

参加者

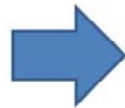
- ・知る
- ・触れる



- ・普及
- ・興味関心

製作者・
主催者

- ・新たな活用法
- ・良さの見直し



- ・商品幅の増加
- ・後継者問題改善

外国版のホームページ↓↓↓



<http://kaminaku.com/en>

将来いの町は・・・

和紙で有名な場所！！
国内外を問わず和紙活用の町となる！

それに加えほかの市町村の発展の手助けを
できる町になる！

将来のいの町はこのコンテストを経て和紙といえいの町という固定概念を植え付けることにより和紙で有名に町になると思います。さらには国を超えて紙といえいの町といわれるのではと思います。

その結果いの町は繁栄しほかの市町村の発展の手伝いもできるのではないかと現状では考えられます。

ご清聴ありがとうございました。